

事務局を訪問して、 クルーの皆さんの日常を伺いました

秋山 勝(広報部会)

NIA の活動をささえている事務局は普段どんな様子なのでしょう。仕事などについて紹介します。

事務局は、事務局長の井澤修美さん、事務局員の大場みな子さん、仙田希代子さんの 3 人体制。それぞれ週 4 日勤務で、3 人揃うのは週 1 日だけ、あとは 2 人のシフトです。

仕事は「主にボランティアの皆さんのサポートです」と井澤さん。日本語教室の場所の確保や申込みの対応、ボランティアと学習者のマッチング、語学講座の申込みや先生とのやりとり、各部会や会議のアレンジ、協会イベントの準備や窓口業務など、とのこと。

事務局には外国人の訪問や電話がよくあります。日本語教室の問い合わせや申込み。若いかたはネットも多いです。市の紹介で訪ねてくる人もいます。中には日本語が全くできない人もいて、日本語がわかる友人と一緒にときはいいのですが。そうでないときは？「大丈夫です。自動翻訳アプリがあります」と大場さん。外国語での相談や病院からの通訳依頼などは、サポートしている県の国際交流センターや他団体を紹介しています。「外国からの珍しいおみやげをいただくのは嬉しいし、いろいろな国で考え方や習慣が違うことを知



るのも面白いです」とは国際交流協会ならではの楽しみですね。

一方、業務で難しいのは「ボランティア間、またボランティアと市や外部団体との調整ですね」と話す井澤さん。ボランティアの意欲と周囲の事情との両立はなかなかたいへんようです。

会員の皆さんへの希望としては、「コロナでの制限がまだありますが、何かできる活動を探してほしいですね。例えば、今号でとりあげた図書について、貸出カード作成や借りてみる体験ツアーを企画するとか。小さなアイデアでも私たちは喜んでサポートします」と仙田さん。また、外国のかたには今は日本語を教えてもらう立場でも、いずれ日本人ボランティアと一緒にボランティア活動するようになってほしい、とも。

ここでのキャリアは、井澤さんは 5 年、大場さんは 10 年、仙田さんは 9 年です。今ハマっているのは、大場さんは空中ヨガ。いったいどんなのでしょうか？もう 5 年も続けているそうです。仙田さんは飼い猫の調教。お座りや待てができます。井澤さんは「娘と一緒に映画やバスツアーにでかけること」とか。

今回チームワークよく、ていねいに質問に答えていただいたように、これからも訪問者を笑顔で温かく迎えてくれると思います。



井澤さん(手前)大場さん(右奥)仙田さん(左奥)